

水稲のペースト肥料施肥技術

- ペースト肥料とは一定の粘性を持たせた側条施肥専用の液状肥料。
- 液状肥料のため雨でも施肥作業が可能であり、天候に左右されず計画的に田植えが可能。
- 初期生育の立ち上がりの肥効が早く欲しい密苗栽培と相性が良い施肥法。
 - ・持続可能な環境調和型農業への貢献： 脱プラスチック
 - ・生産者に与える影響： 労力軽減

粘性があり、水の中でも分散しにくいペースト肥料



雨でも施肥・田植えが可能 ポンプでの肥料補給で、らくらく

基肥一発施肥対応ペースト



- 窒素発現は粒状一発肥料の溶出パターンに近く、従来のペースト栽培と比較して初期分げつがゆっくりになる

○全天候型の基肥施肥体系で計画通りの田植えを実現

密苗×ペースト

- ペースト肥料は液状であるため、農薬登録上、移植時にペースト肥料に混合して側条施肥田植機で施用することが認められている農薬※と混用できる。

※2021年4月現在で側条オリゼメートフェルテラ顆粒水和剤、パダンS G水溶剤、ツインターボ顆粒水和剤などが登録

- ペースト施肥と密苗の組合せで移植時の省力化をはかり、かつ農薬混用が可能なことにより、密苗の箱剤の課題をクリア

具体的なペースト肥料は下記リンク参照

http://www.katakuraco-op.com/site_fertilizer/products/a_paste.html

水稲高密度播種（密苗・密播苗等）については下記リンク参照

https://www.zenoh.or.jp/about/future/productionpromotion/costs/pdf/costs_2-6.pdf